

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第80期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 フォスター電機株式会社

【英訳名】 Foster Electric Company, Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮田 幸雄

【本店の所在の場所】 東京都昭島市つつじが丘1丁目1番109号

【電話番号】 042(546)2311 (代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 猪熊 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都昭島市つつじが丘1丁目1番109号

【電話番号】 042(546)2311 (代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 猪熊 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第79期 第1四半期 連結累計期間		第80期 第1四半期 連結累計期間		第79期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (百万円)		27,543		38,595		143,542
経常利益 (百万円)		586		1,845		5,316
四半期(当期)純利益 (百万円)		203		1,256		3,333
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		387		3,141		8,056
純資産額 (百万円)		34,360		45,312		42,624
総資産額 (百万円)		74,171		99,954		94,480
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		8.74		53.84		142.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)				46.98		137.20
自己資本比率 (%)		43.6		42.8		42.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)		776		1,093		1,577
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)		4,100		1,042		11,947
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)		4,427		1,237		9,257
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)		5,420		4,688		5,359

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第79期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における世界経済は、米国では、雇用情勢や所得環境の改善を背景に好調に推移いたしましたが、欧州では景気低迷が予想以上に長期化し、また中国をはじめとする一部の新興国では景気減速感が強まりました。一方、わが国経済は、積極的な金融緩和策や政府の経済対策への期待感等により、持ち直しの動きが見られました。

当社グループの属する電子機器・電子部品業界におきましては、スマートフォンや車載関連機器がグローバル需要を牽引いたしました。薄型テレビ向け等のAV機器関連は引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、ほぼ期初の計画通りに推移し、38,595百万円（前年同期比40.1%増）となりました。利益面につきましては、生産性が改善したことやレアアース・マグネットの原材料価格相場が落ち着いたこと等により、連結営業利益は、2,049百万円（前年同期比318.0%増）、連結経常利益は1,845百万円（前年同期比214.5%増）、連結四半期純利益は1,256百万円（前年同期比516.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[音響部品・製品事業]

アフターマーケット向けオーディオ用ヘッドホンは計画通りに推移したものの、薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムやモバイル機器用ドックスピーカは低迷いたしました。

その結果、当事業の売上高は5,436百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

[自動車用部品・製品事業]

車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産、出荷は、北米市場向けを中心に堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は11,526百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

[情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は、好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は21,255百万円（前年同期比90.6%増）となりました。

[その他事業]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は377百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は主にたな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ5,474百万円増加して99,954百万円となりました。負債は主に借入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,786百万円増加して54,642百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定（借方残高）の減少等により前連結会計年度末に比べ2,688百万円増加して45,312百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比0.3ポイント増の42.8%になりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより4,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ670百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の支出は、たな卸資産の増加等により1,093百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により1,042百万円（前年同期比74.6%減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加等により1,237百万円（前年同期比72.1%減）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第 1 四半期連結累計期間の研究開発費の総額は688百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,506,015	23,506,015	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数は100株でありま す。
計	23,506,015	23,506,015		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		23,506		3,770		3,896

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 177,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,319,400	233,194	
単元未満株式	普通株式 9,615		
発行済株式総数	23,506,015		
総株主の議決権		233,194	

(注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式16株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フォスター電機株式会社	東京都昭島市つつじが丘 1丁目1番109号	177,000		177,000	0.75
計		177,000		177,000	0.75

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,581	6,217
受取手形及び売掛金	28,582	28,998
電子記録債権	-	459
製品	14,044	18,383
原材料	8,151	8,124
仕掛品	1,256	1,402
貯蔵品	292	336
短期貸付金	16	54
未収入金	1,562	1,420
未収還付法人税等	32	53
前渡金	233	286
繰延税金資産	838	839
その他	1,640	1,787
貸倒引当金	771	804
流動資産合計	62,460	67,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,027	9,179
機械装置及び運搬具（純額）	11,770	12,049
工具、器具及び備品（純額）	3,211	3,246
土地	1,004	1,034
建設仮勘定	1,383	1,307
有形固定資産合計	26,396	26,817
無形固定資産		
のれん	105	81
ソフトウェア	224	210
借地権	750	785
その他	121	129
無形固定資産合計	1,202	1,207
投資その他の資産		
投資有価証券	2,434	2,396
長期貸付金	37	37
長期前払費用	1,377	1,350
繰延税金資産	149	157
その他	430	436
貸倒引当金	9	9
投資その他の資産合計	4,420	4,370
固定資産合計	32,019	32,394
資産合計	94,480	99,954

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,758	11,813
電子記録債務	-	155
短期借入金	19,523	22,313
1年内返済予定の長期借入金	1,342	1,337
未払金	4,391	3,661
未払法人税等	296	318
未払費用	1,489	1,413
繰延税金負債	682	779
賞与引当金	606	739
その他	549	934
流動負債合計	40,639	43,466
固定負債		
新株予約権付社債	6,000	6,000
長期借入金	3,958	3,899
繰延税金負債	569	581
退職給付引当金	234	245
役員退職慰労引当金	72	64
資産除去債務	218	219
その他	164	165
固定負債合計	11,216	11,175
負債合計	51,855	54,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	33,911	34,779
自己株式	133	133
株主資本合計	43,921	44,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	401
為替換算調整勘定	4,162	2,460
その他の包括利益累計額合計	3,728	2,058
少数株主持分	2,430	2,581
純資産合計	42,624	45,312
負債純資産合計	94,480	99,954

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	27,543	38,595
売上原価	24,018	32,793
売上総利益	3,524	5,801
販売費及び一般管理費	3,034	3,752
営業利益	490	2,049
営業外収益		
受取利息	25	35
受取配当金	14	14
為替差益	98	-
雑収入	53	60
営業外収益合計	192	111
営業外費用		
支払利息	65	74
為替差損	-	192
雑損失	30	48
営業外費用合計	96	315
経常利益	586	1,845
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
特別損失合計	-	-
税金等調整前四半期純利益	586	1,845
法人税、住民税及び事業税	207	427
法人税等調整額	103	89
法人税等合計	310	516
少数株主損益調整前四半期純利益	275	1,328
少数株主利益	72	72
四半期純利益	203	1,256

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	275	1,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	32
為替換算調整勘定	494	1,845
その他の包括利益合計	663	1,813
四半期包括利益	387	3,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513	2,925
少数株主に係る四半期包括利益	126	216

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586	1,845
減価償却費	869	1,643
のれん償却額	24	24
前払年金費用の増減額（は増加）	15	23
退職給付引当金の増減額（は減少）	48	0
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	0	10
貸倒引当金の増減額（は減少）	48	1
賞与引当金の増減額（は減少）	147	126
受取利息及び受取配当金	40	50
支払利息	65	74
為替差損益（は益）	184	441
売上債権の増減額（は増加）	2,998	438
たな卸資産の増減額（は増加）	3,011	3,156
仕入債務の増減額（は減少）	276	360
未収入金の増減額（は増加）	83	198
立替金の増減額（は増加）	1,359	-
未払金の増減額（は減少）	294	875
その他	279	90
小計	557	653
利息及び配当金の受取額	40	50
利息の支払額	65	74
法人税等の支払額	193	416
営業活動によるキャッシュ・フロー	776	1,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	0	0
有形固定資産の取得による支出	3,533	746
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	12	13
定期預金の増減額（は増加）	416	253
短期貸付金の増減額（は増加）	10	13
長期貸付けによる支出	0	2
長期貸付金の回収による収入	3	3
長期前払費用の取得による支出	169	53
その他	17	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,100	1,042

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	3,285	1,893
長期借入れによる収入	1,482	111
長期借入金の返済による支出	42	351
配当金の支払額	233	349
少数株主への配当金の支払額	64	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,427	1,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	227
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	182	670
現金及び現金同等物の期首残高	5,603	5,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,420	4,688

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金	6,456百万円	6,217百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,035 "	1,528 "
現金及び現金同等物	5,420百万円	4,688百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	233	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	349	15.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,108	8,875	11,151	407	27,543		27,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	7,108	8,875	11,151	407	27,543		27,543
セグメント利益又は損失()	211	315	56	44	514	24	490

(注)1 セグメントの調整額 24百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,436	11,526	21,255	377	38,595		38,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	5,436	11,526	21,255	377	38,595		38,595
セグメント利益	246	500	1,273	54	2,074	24	2,049

(注)1 セグメントの調整額 24百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円74銭	53円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	203	1,256
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	203	1,256
普通株式の期中平均株式数(株)	23,329,033	23,328,999
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		46円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)		3,405,221
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

フォスター電機株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 陸 田 雅 彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 五 十 嵐 勝 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフォスター電機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フォスター電機株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。